

4

けんきゅう せつめい
研究のアウトラインを説明する

Explain the outline of your research

Flowchart

きょうは、^{わたし けんきゅう}私の研究の アウトラインについて ^{せつめい}説明したいと
おも
思います。

^{わたし けんきゅう}私の研究テーマは、「 _____ 」です。

まず、(topic 1) について、^{つぎ}次に (topic 2) について、^{さいご}最後に
(topic 3) について ^{はなし}お話をします。

☆ topic 1

まず、 _____ について ^{はなし}お話をしましょう。・・・

☆ topic 2

つぎに、 _____ について ^{しょうかい}ご紹介します。・・・

☆ topic 3

^{さいご}最後に、 _____ について ^{せつめい}ご説明します。・・・

☆まとめ Conclusion / Ending

^{いじょう}以上が、^{わたし}私の ^{けんきゅう}研究の アウトラインです。

^{しつもん}ご質問が あれば、よろしく お願いします

☺ なに 何について、どんな ^{じゆんばん} 順番で ^{はな} 話しますか。

^{はっぴょう} 発表のアウトラインを考えましょう

タイトル _____

■ クラスメイトと ^み見せ合 ^あって、コメントをもらってください。

日本にいるインドネシア人^{いじゅうろうどうしゃ}移住労働者の

生活^{せいかつ}のダイナミクス

1 わたしの^{せんもん}専門と^{けいれき}経歴

2 研究^{けんきゅう}の背景^{はいけい}と研究^{けんきゅう}テーマ

日本にいるインドネシア人^{いじゅうろうどうしゃ}移住労働者

研究^{けんきゅう}テーマ

3 研究^{けんきゅう}方法^{ほうほう}

移住 ^{いじゅう} immigration
労働者 ^{ろうどうしゃ} labor
ダイナミクス ^{dynamics} dynamics

日本語の語彙^{ごい}の使い分け^{つかいわけ}

1 ^{せんもん}専門と^{けいれき}経歴

2 日本語の語彙^{ごい}の特徴^{とくちょう}

「和語」^{わご}「漢語」^{かngo}「外来語」^{がいらいご}「混種語」^{こんしゅご}

3 研究^{けんきゅう}の必要性^{ひつようせい}

4 研究^{けんきゅう}方法^{ほうほう}

特徴 ^{とくちょう} characteristic

Example Speech

きょうは、^{わたし}私の^{けんきゅう}研究の^{せつめい}アウトラインについて^{おも}説明したい^{わたし}と思います。私の

^{けんきゅう}研究テーマは「^{にほんご}日本語の^{ごい}語彙と^{つか}使い分け」です。

まず、^{わたし}私がこの^{せんもん}専門を^{えら}選んだ^{けいれき}きっかけと^{はな}経歴についてお話しします。そして、

^{にほんご}日本語の^{ごい}語彙の^{とくちょう}特徴について、^{けんきゅう}研究の^{ひつようせい}必要性について、^{さいご}最後に、^{にほん}日本での^{けんきゅう}研究

^{ほうほう}方法について^{はなし}お話しします。

^{わたし}私の^{せんもん}専門は、^{にほんごがく}日本語学です。^{とく}特に、^{にほんご}日本語の^{ごい}語彙と^{つか}その使い分けについて^{きょうみ}興味

があります。^{わたし}私は^{ちい}小さい^{とき}時から、^{がいこく}外国や^{がいこくぶんか}外国文化、^{とく}特に^{にほんご}日本語について^{きょうみ}興味

がありました。それで、^{だいがく}大学では^{にほんごがく}日本語学を^{せんこう}専攻しました。^{だいがく}大学を^で出てから、^{だいがくいん}大学院

^{はい}に入って、^{にほんご}日本語の^{ごい}語彙について^{けんきゅう}研究しています。

^{にほんご}日本語の^{ごい}語彙には、「^{わご}和語」「^{かんご}漢語」「^{がいらいご}外来語」「^{こんしゅご}混種語」の^{しゅるい}4種類があります。^{ぐたいてき}具体的

に^い言うと、^{にほん}日本で^う生まれた^{ことば}言葉、^{いじょう}2つ以上の^{かんじ}漢字で^{つく}作られた^{ことば}言葉、^{おち}主に^{えいご}英語な

どの^{がいこくご}外国語から^{はい}入ってきた^{ことば}言葉、^くこれらを^あ組み合わせて^{つく}作られた^{ことば}言葉の^{しゅるい}4種類

です。「^{にほんご}日本語^{ごい}語彙の^{ごしゅ}語種」というのは、^{しゅるい}これらの^{しゅるい}4種類のことです。このよう

に^{おお}多くの^{ごい}語彙を^{つか}使っている^{くに}国は、^{にほん}日本の^{ほかに}ほかに^{はい}はないでしょう。

^{にほん}日本では、^{にほんご}日本語の^{ごい}語彙と^{つか}その使い分けについて、^{とく}特に、^{にほんご}日本語の^{ごい}語彙の^{ごしゅ}語種と

^{しょうばめん}使用場面について^{ちようさ}調査したい^{かんが}と考えています。

^{つぎ}次に、^{わたし}私の^{けんきゅう}研究の^{ひつようせい}必要性について^{せつめい}ご説明します。

これまでの^{けんきゅう}研究によって、^{にほんご}日本語の^{ごい}語彙の^{つか}使い分けは^わコミュニティによって

ちが^{ちが}うということがあき^{あき}らかになっています。とく^{とく}に、せんもんぶんや^{せんもんぶんや}のコミュニティでその傾向が強いそうです。たとえば田中（1997）によると、IT分野では、よりたくさんの外来語が使われているということです。しかし、一般のコミュニティの中でどのように使い分けられているかについては、まだ明らかになっていません。

そこで、わたしは日本人が生活の中でどのように語彙を使い分けられているのかについて詳しく調査し、その理由についても明らかにしたいと考えています。

最後に日本での研究方法についてご説明します。

まず、世代別の言葉の使用実態を知るために、いろいろな世代に簡単なアンケート調査をする予定です。次に、それぞれの結果を比較して、さらに、違いの理由を考察したいと思っています。

この調査をすれば、世代によって言葉がどのように使い分けられているか、わかるのではないかと思います。

現在は、このアンケート調査の質問を検討しているところで、来年からアンケート調査を始める予定です。

以上が、私の研究のアウトラインです。

ご質問があれば、よろしくお願ひします。

最後に、

以上が 日本での 私の 研究の アウトライン です。

ご質問が あれば、よろしく お願いします。